

令和2年度老健事業 認知症地域支援推進員活動 報告会Q&A (令和3年3月12日)

報告テーマ：身近な人たちの「声」からはじめる地域づくり ～楽しみながらつながりを広げるために～

報告：東京都品川区 認知症地域支援推進員 鈴木 裕太氏 (東京都 認知症介護指導者)

社会福祉法人新生寿会 品川区立東五反田蔵地域密着型多機能ホーム 東五反田倶楽部 施設長

No	質問	回答
1	東五反田倶楽部の鈴木様へご質問です。様々な取り組みを展開する上で、行政からの経済的支援や関わり、アプローチはあったのでしょうか？あった場合、どのような内容でしょうか？	行政からの支援は、ファーム・エイド東五反田の講演会の企画提案をしたところ賛同していただき共催という形で実施することができ、区としての広報、そして登壇者への謝礼を負担していただいております。また、昨年はコロナの影響で講演会をケーブルテレビ品川でも配信しましたが、ケーブルテレビの公報枠についての調整や費用も負担いただきました。その他の取り組みに関しては行政からの経済的支援はいただいていませんが、地域密着型サービスの立場を活かして本人とともにやっている自由な活動を見に来たり、一緒に楽しんでくれています。
2	地域の様々な方々が結びついての活動ができていることはとてもうらやましく思います。だれがどういうきっかけを作ったことがそこまでの広がりに至ったのか考えることはありますか？	地域で活動する様々な声や取り組みがあったので、推進員として声を掛け合い、つながりを広げていきました。
3	デニーズでの本人ミーティングの費用は、各個人いくらの負担で、どのように算出していますか？	デニーズでは、一人について1オーダー制となっています。費用は参加者個人による負担をお願いしています。
4	ファームエイド東五反田を提案して開催するまで、どれくらいの期間を費やしましたか？開催までの課題やご苦労があれば教えていただきたいです。	走り出しの開催まで3か月でした。次年度に計画を立て再出発には半年、準備しました。開催までの課題は行政との連携をどうしていくかということと、開催する費用の捻出でした。現在は協賛をつのり開催する様々な費用にあてております。
5	開催を決めてからファーム・エイド東五反田開催当日までの流れを知りたいです。また、誰が主担当で動いたのでしょうか？認知症地域支援推進員ですか？	初回は3か月の間に7回程度話し合いを行いました。再出発の際には月に1回運営委員会を開催いたしました。地区ケア会議のメンバーや地域の様々な方々に声をかけ集まっていたいただいております。認知症地域支援推進員が発起人として動いております
6	駄菓子屋や書道教室を始めるときに苦労した部分などはありましたか	駄菓子屋を開催する際はありません。何をどうやったらいいか、一つ一つ本人やスタッフらと話し合っていく中でアイデアと一緒にやりたいという人たちが出てきて、一緒に楽しみながら進めることができます。書道教室の開催では、教室参加者が払ってくれた参加費(1回 円)の一部を本人が教えた対価(ボランティア謝金)として本人に渡すまでに苦労いたしました。
7	関係機関が多い中で、どのように予算を取ったのでしょうか？	あいおい夏祭りの予算については、当事業所、町会、地域の1薬局の3者で負担しています。ファーム・エイド東五反田については、講演会における費用を行政の事業に位置付けてもらい講師料など負担していただいております。また、マルシェやチラシ等の費用については協賛金をつのりその中でやりくりをしております。
8	書道教室の様子、感動しました。地域の子どもたちへの声掛けは、どのようにされましたか？	事業所の外の掲示板と祭りの際にチラシの配布をしました。事業所の掲示板は過去の取り組みから地域の方々が日ごろからチェックしてくれています。
9	書道教室を行うことで、生活に変化が出てきたということですが、どのような変化があったか、具体的に教えていただければと思います。	居室に閉じこもる時間や家族への不満の電話が激減しました。また、入居していることに否定的な発言が多かったのですが、現在は新しく入居された利用者にグループホームの説明をしてくれたり、前向きな話をしたりと生活に活気がでてきました。
10	チームオレンジとの連携や県行政へ期待することがあったら教えてください	本人とともに地域の人たちが支えあっている実際があるので、そうした日常的な関わりや活動を育て広げていくことが肝心だと思います。 県行政(都行政)への期待としては、都道府県として長年に渡って育ててきている認知症介護指導者の中には地域づくりに日常的に取組んでいる人たちも多いため、そうした指導者が市区町村の推進員となったり他の推進員とつながりあって活躍しやすくなるように市区町村に促してほしいです。
11	認知症施策について、行政の推進員と協働で行われているのでしょうか。行政からは全てお任せという形で事業を行って見えるのでしょうか。	認知症施策については行政職員、認知所の本人などと協働で行われるようになってきたところです。地域支援推進員としては行政から委託されてやらされているものではなく必要性を感じ独自で動き、行政には、時と場合によって、相談、協力、連携をお願いしております。
視聴者から寄せられたコメント		
1	ファミレスを巻き込んだの本人ミーティングはすごいと思います。	
2	毎日、本人・当事者の声を聴いている介護職の方の活動に感動しました。もっと、もっと、地元にある介護施設等の関係施設と繋がる必要性を感じました。ありがとうございます。	